

歴史・景観まちづくりセッション

テーマ

「歴史と景観」まちづくりで未来とつながる

運営 | 歴史・景観まちづくり部会

本セッションは、連合会まちづくり委員会の歴史と景観の2つのまちづくり部会が担当し、「『歴史と景観』まちづくりで未来とつながる」をテーマに、「歴史」と「景観」を考えます。

今回の大会テーマにあるように、埼玉県には「意匠的に優秀なもの」として理由で選定された「川越市川越」重要伝統的建造物群保存地区もあります。このまちは、歴史文化を大切に守るとともに、それを現代に継承し、活かし、なおかつ常に進化し発展しているまちです。また、このまちは、風格とこざねのあるまちづくりの先進地として、さまざまなまちづくりに影響を与えています。

全国には、このように伝建地区や歴史的景観によるまちづくりで元気なまちがたくさんあります。「歴史と景観」でのまちづくりを行っ

日時...平成30年10月26日(金) 10:00~12:00

会場...パレスホテル大宮・ホテル棟3F
チェリールーム

定員...250名(予定)



川越のまちなみ

ている全国の実践活動事例は、連合会のまちづくり賞、全国まちづくり会議など数多くみられますが、改めて、その効果も検証してみようと思っています。本セッションでは、「歴史を切り口に元気なまち」をテーマにそのエキスを吸収しながら、それぞれの地域に持ち帰ってみたいようなことを学びつつ話し合ってみたいと思います。

第6回 全国ヘリテージマネージャー大会

テーマ

歴史的建造物を取り巻く法制度改正とHMの役割

運営 | 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会

歴史的建造物を取り巻く状況が大きく動いています。それは歴史的建造物を地域のまちづくりに活かし、地域社会総がかりでその継承に取り組んでいこうとするもので、法制度の大きな改正が見込まれています。

文化財保護法では、市町村が文化財の保存・活用に関する総合的な計画を作成し、国から認定される仕組みができます。また、市町村は地域において、文化財所有者の相談に応じたり、調査研究を行ったりする民間団体を「文化財保存活用支援団体」として指定できるようになることも大きな動きです。これらの仕組みを運用し、各地域のヘリテージマネージャー(HM)団体や協議会組織が活躍できる場が法的に整えられたと言えます。建築基準法では、現行の建築基準への適合が難しい歴史的建造物の活用に向けた3条適用除外の条例整備のガイドラインが、国から示されました。魅力あるまちづくり、個性あるまちづくりのために、歴史的建造物を活かしていこうとするもので、ここでもHMの活躍が見込まれるところです。

日時...平成30年10月26日(金) 10:00~12:00

会場...大宮ソニックシティ・ホール棟4F
国際会議室

定員...180名(予定)



全国ヘリテージマネージャー大会イメージ

このように歴史的建造物の保存活用に向けた仕組みが進化し、かつ深化しています。この大きな動きの中で、HMの真価が問われている時代になったと思われます。本大会では、この時代の中でHMの役割を議論し、さらにこれからのHMの活動を展望し、私たちHM自身が自覚し行動していく機会にしたいと考えています。